



関高 SGH 情報 第31号

平成 30 年 9 月 5 日(水)
SGH プロジェクト委員会

今回は、SDGsを考える D.D.G.カフェ の報告です。

◇ 関市の事業者と連携し、社会貢献・SDGsの実現をめざします！



◇ 店名はD.D.G.カフェ。 Do it, Do it, Go ahead !

SEKI 米粉倶楽部による米粉カップケーキ販売。スターバックス社提供のフェアトレードコーヒー試飲。このふたつのプロジェクトをジョイントしたカフェを、文化祭 1 日目、関高校中庭で開きます。

店名の D.D.G.は **Do it, Do it, Go ahead !** の略。e-Education の創業者、税所篤快さんに命名していただきました。

日 時：平成30年9月3日(月) 関高祭第1日目 10:00 ~ 14:30

場 所：関高校 中庭噴水前 **主 催：**SEKI 米粉倶楽部、有志

目 的：米粉の普及活動やフェアトレードの啓発活動を通じ、社会貢献やSDGsの実現をめざす。

協 力：スターバックスコーヒージャパン株式会社 農業生産法人PLUS株式会社

JAめぐみの「とれったひろば」 NPO法人ぶうめらん 関市商工課

岐阜農林高等学校 岐阜調理専門学校

◇ 「みらプロ」認証 SEKI 米粉倶楽部の活動

関市は、ビジネスと社会貢献の両立をめざす「せきの未来・社会貢献プロジェクト」(略称：みらプロ)を推進しています。関高・家庭クラブは、農業生産法人 PLUS 株式会社や JA めぐみの「とれったひろば」と連携し、米粉の消費拡大を図る活動を開始しました。地元農産品の地産地消、水田環境の保全を通じ、持続可能な地域開発をめざすプロジェクトであり、SDGs 実現をめざす本校 SGH 活動の一環として行っています。

チーム名は SEKI 米粉倶楽部。「米粉倶楽部」とは、フード・アクション・ニッポン(注)の取り組みのひとつであり、米粉を通じて、新しい食の可能性を広げ、日本の食料自給率を向上させることを目的とした活動です。米粉に関わる様々な関係者が一体となって、米粉の普及にむけて

取り組んでいます。関高等学校家庭クラブは、「米粉倶楽部」の推進パートナー「SEKI 米粉倶楽部」として正式登録しています。

今年の文化祭では、米粉カップケーキの販売と、米粉パスタを使った料理レシピコンテストを行いました。カップケーキは岐阜調理専門学校よりご指導をいただいて作りました。500 個あったカップケーキは午前中に完売。レシピコンテストの優秀作品には、PLUS 賞、とれたっひろば賞、ぶうめらん賞、みらプロ賞、SGH 賞が授与されました。

(注) フード・アクション・ニッポンとは、日本の食を次の世に残し、創るために、民間企業・団体・行政等が一体となって推進する、国産農林水産物の消費拡大の取り組みです。



開店と同時ににおにぎわい



販売の様子



カップケーキは抹茶、コーヒー、カラメル の3種



エントリーされた米粉パスタ料理のレシピ



厳正な審査が行われています



同時に掲示された啓発用ポスター

◇ スターバックス社・コミュニティコネクション

コミュニティコネクションとは、スタバの提供する CSR（注）のひとつ。テイスティングパーティー、清掃活動、ミュージックライブなど、各地の店舗によって活動は様々。

関高校では、2016 年より、スタバ関マーゴ店のご協力の下、文化祭でフェアトレードコーヒーの試飲会を開催しています。スタバのコミュニティコネクション、関高の SGH 活動のコラボ。3 年間を振り返ってみたいと思います。

＜2016 年＞ 当日、一日店員となった関高生は、店長さんをお招きしての事前学習会でフェアトレードについて学び、お客さんに語りかけながらコーヒー試飲を勧めました。一杯のコーヒーを味わいながら、熱帯雨林の保全や労働環境の改善について考える。企業と高校が連携し、SDG s の実現に向かって進む取り組みが始まりました。

＜2017 年＞ 昨年度の試飲会では、エシカルコーヒークイズを使い、より効果的な啓発活動を行いました。同時に、店舗でのユースコネクションに参加した生徒 4 名が、研究成果をわかりやすくまとめたポスターをカフェの場に掲示し、普及に努めました。この 4 名は、その後も研究活動を続け、その成果を「関市をフェアトレードタウンにするために」というタイトルで、口頭プレゼンも行っています（校内 SGH 発表会）。

＜2018 年＞ 今年度の事前学習会では、フェアトレードに詳しい社員の方のレクを受けました。当日は 4～5 名のグループに分かれ、エシカルコーヒークイズを使いながら啓発活動を行いました。午前は 16 リットル、午後は 20 リットル、計 36 リットル（小カップ 850 杯分）のコーヒーを試飲していただきました。研究や実践の成果は、関市環境フェスタやサイエンスフェスティバル（岐阜県サイエンスワールド）でも発表する予定です。

（注）Corporate Social Responsibility の略、企業の社会的責任のこと



スタバから6名のスタッフが駆けつけてくださいました



開店前の打ち合わせです



コーヒークイズ、盛り上がります



ALTのエミー先生も試飲



エシカルコーヒークイズ



取材の新聞記者さんも試飲



木陰で休むお母さん方も試飲



フェアトレードを熱く語ります



学校長もPLUSの社長さんも試飲



スタバのリーダーと振り返り

■ ご協力いただいたスターバックス社の方々

青木志保里（関） 荒谷郁美（各務原） 北川万里那（モレラ） 岡 美沙恵（関）
清水 九実子（各務原） 伊藤智彦（岐阜地区担当）